

実践者氏名	斎藤信代 様	地 域	福岡県八女市
業種・業態	農業	生産品目等	茶
LOAの導入時期	2009. 2	LOA 導入内訳	アースパワー、元付け（電気、水）、汎用

(報告者：春口 博二)

【LOA 導入前の問題・課題・状況】

・いいお茶、日本一、世界一のブランド茶に仕上げるために、圃場の環境を高めるための努力を続けて来た。土づくりに賭けた資材等の費用に対する効果から見ても納得のいく内容まで持ち上げることはできなかった。

当然、市場（お客様）からの評価（香り、味）も厳しいものがあった。

【LOA 導入後の経緯・状況・結果】



・茶畑へはアースパワーを4袋/10aを継続して投入。工場には元付けと汎用LOAを随所に装着した。疑心暗鬼ではあったが、LOAを導入してから2年目に一つの結果が出た。

それは、下の表の通り、市場での取引価格に大きな変化があった。

(一番茶/煎茶)

	茶市場平均単価	斎藤茶園平均単価
平成21年(2009)	3,076円	3,123円
平成22年(2010)	3,451円	5,369円

<単位：kg>

・その後も継続してアースパワーを約5袋/10aずつ投入している。土は軟らかく茶の木と葉はしっかりしてきている。



【考察・評価・今後の指標】

・2012. 1月に久し振りにお邪魔して、圃場や堆肥場を案内していただいた。予想通りではあったが、茶の木はしっかりしていて、葉は色濃く元気で瑞々しさを湛えていた。土は軟らかく臭い（香り）も良かった。1枚1枚広いが点在しているどの畑も環境エネルギーは高い。多分日本中で、否世界中で環境エネルギーの一番高い圃場になっていると言っても過言ではありません。

・課題はボカシ肥料で、環境エネルギーの高さは圃場の1/4位です。肥料業者とタイアップして圃場に劣らない肥料の生産と投入が望まれます。入れる肥料で足を引っ張るのは勿体ないです。